表 「固体廃棄物環境汚染防止法」の改正ポイント

1	監督管理責任を強化	<ul style="list-style-type: none"> ・政府および関連部門の監督管理責任を強化し、目標責任制、信用記録、全過程監視と情報化追跡などの制度を明確にする。 ・国家として徐々に固体廃棄物輸入ゼロを実現することを明確にする。
2	工業固体廃棄物の環境汚染防止制度を完備	<ul style="list-style-type: none"> ・工業固体廃棄物の発生源の責任を強化。 ・汚染物質排出許可、管理台帳、資源総合利用評価などの制度を追加。
3	生活ごみの分類制度を明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・国が生活ごみの分類制度を推進し、生活ごみの分類ルールを確立することを法律で明確化する。 ・都市と農村を統一的に扱い、農村の生活ごみ環境汚染防止を強化する。 ・地方により実情に合わせて生活ごみの具体的な管理方法を制定することができる。
4	建築ごみ、農業固体廃棄物など環境汚染防止制度を完備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築ごみの分別処理、全過程管理制度を構築。 ・わら、廃棄農業用フィルム、家畜の糞などの農業固体廃棄物環境汚染防止制度を健全化する。 ・電気電子、鉛蓄電池、車用動力電池などの生産者責任制度を確立することを明確にする。 ・過剰包装、プラスチック汚染対策を強化する。 ・国は法に基づき、分解できない使い捨てプラスチック袋の生産、販売と使用を禁止または制限する。 ・汚泥処理、実験室の固体廃棄物管理などの基本的な要求を明確にする。
5	危険廃棄物の環境汚染防止制度を完備	<ul style="list-style-type: none"> ・危険廃棄物をレベル、分類別に分けて管理し、情報化管理システム、区域性集中処分施設の建設などの内容を規定する。 ・危険廃棄物の省を跨ぐ移転管理を強化し、データと情報を管理する。危険廃棄物の転送管理を全過程で管理し、効率を向上させる。 ・医療廃棄物は国家危険廃棄物リストに基づき管理する。
6	法律の責任を厳格化	<ul style="list-style-type: none"> ・違法行為に対し、厳格に処罰を実施する。罰金を引き上げ、処罰の種類を増やし、処罰を強化する。

(出所) 関連報道などに基づきジェトロが作成